蟻通

千葉重俊

四

四番

蟻通 曲出ニ拍子口傳
位関上八三月四半五

和

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おもひよらぬ
ちからのひとこん
けしの　夢に
まぐ
よ郭の
ちひやうこと
ふ
ふ
ちひなるかのもとにく
ぶ
ぶ
とと
ら
ぶ

すべたちもかわせやぶ
ゆうもやうろれあんらいふつ
くえんどろのものもをうしを
ぽどあくえちだんやれるものこ
あばどうれひらかんどにはぼさ
ひんもすこうなはばとはをい

ぬしあくずんめろ者をやへと
神ハうをひがなくそれに変
ちひとうもなるようよくれ
うふくくどもが光ろけいもも
くうかうどわ風ろうまちもも
や平河ふくうを変のひろよそいて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つくいひをあまの藻流やうの
くもゐの春のうれくひとと
秋のさまうんのしをつまとうの枝
なりあるしいとのおりてよりしぬる
こゝろもとかとりの神を祈更ぐんうの
よ夏人も此ゆるさるれあさの日

きの信あるよりけりのつまをれし
物とりとりやおりれそく
よわもゆかぬでもあんしてとと
うけこしほうしていくそうの新年や
つくの神へ歌かくまうの酒と
あかうるうへ夏人そまはを

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小新せうと立てこぶ伏とうえろ
ひとせのはるすにくいぶきるはれとい
来れて山伏とらめしべ今自しと
付ちやとねぐいうて泄うるる 泄おる
と用し山伏のはあらわいたすか
人 暮ていい 猿の長いすりけの猿

の長いすりけ神やか
海人 ちろんそやすまれれ
の猿長用しをすれうちのとあぶ
やうしてをたし 泄れ仕のくはい
いせのこ即とうの沢良げ老まりとび
さら沿 弁慶の海とたち

[illegible]

て　自[illegible]十二[illegible]

[illegible]神のもとの[illegible]

初くいつ[illegible]

しられ[illegible]

月の[illegible]十日の[illegible]月の

[illegible]と[illegible]

[illegible]

て[illegible]

[illegible]

より船の[illegible]

どの[illegible]

ちちし[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

わるくしたがひ大きなれば
ものゝ道ばたなん中にあるとかいえん
ばかりあるとかとてしかるべきなん中ふかく
何なりとまれとこれをもり
あるいとかたきなりしかるべき
一ぬかれてはあるまじきなり

ものゝ人へたがひかたきなりしかるべ
大きなりあるべきなり何とかとてこれをもり
ぬかるとかとてもなるべ
けれども人はかるべきなりあんをお
しるるものなれば我がとかとてなるべ
くいかゝ伏してもはかるべ

まことにさなくいつるぶしまてはいりこと
思おもひてさる事にいとゝ藤掛と
のもとまでおれ侍かり角さうなるとまを
けりてふのとうしだりさとりてこまぶり
りまを所こうれ祈りて祭しり祈ひさ
りくれ毎ちくゆ中ゝ人ひとりとりて義



とは判
ゑ人ゝ所ひいりふの海方が海りとひと
けりさはとうりまいかだん切り寅かし
かさうまてくいなひぐ海ハさうゆ
ち受れ祈祈とそて滅りの伏と撰り
ぐれ祈ふしかさう海ちんてまりとゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山伏のれ毎ゆうんはてゆうぶく
六傳生見、宮入ゆてい（ニテ）ゆうぶ見八
為教未大ちこうゆうれるよ思くへ高
傳とれゆうしゆぶ陸奥とハ高傳ゆ
つくゆ毎りゆぶ勧はれへ人（ヲキ）全法
対勝ゆ勧ハ高ゆ今ゆうぶくゆ高ゆ

ら見ハ山伏生よりかゆて面ゆ宮
てい（ニテ）梅ゆ渭ハ（ヲキ）ゆうぶれ教義法
れ中天ゆゆゆうゆ生ゆゆうゆ教高
ハ行秀ゆゆと教れゆぶ二人の修ゆ山
外とゆれくれ下向の中ゆ中ゆぶ
ゆ教宮ゆとゆくゆ山伏とゆくく撰ゆ

ゝ也ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

つゝめと姫こぶ[illegible]

[illegible]

いてくさいとろ[illegible]

[illegible]

[illegible]

おろいさにわんれ一ちとたへそく
分長紙山伏と　家ふて対面ゆえん
しゆまのせうらんらふかふしのや
特現乃ゆ得とわうらんと　立ゆよ
ひく　数ゆへ　どんわひら
うんもんとちもとちらくとせめ

等得
を法師勝よひぬ　れよりまひつる
ゆ数来たれ勅を　ひるゆ宮ら
勅を恐乃ゆさ　ひまり勅を
恐とあそばさし　見て強ゆさ
うするとて何と勅を恐とあ
ゆんゆゆてゆ　ゆとり勅を恐ゆ

らへりて簡の中ゝ法華の生涯
一生をれば命を惜みて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
中[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

あまたこなたこちら留てあ（ニテ）それハ何
ことくに留ひそ（ワキ）あれ法かうちと人よ
ふさ屋と戸者のひたれ殺留てひよ
（ニテ）何と人々人よふるとハ知らぬ侍そ
ひ殺れはよしくひそ（ワキ）判官義ひふると
ひまんひ殺よ義ひ乃ひとめてひ

（ニテ）や云殺乃ひ判官義よにひとう法ぬ
ハ一ことひくひくひ殺ひや日ちくハひと
乃ふ屋ひさうすうとひひたうひ後の箇
負て紅よさうひたれ人まあやふむま
ぬ殺くひ殺ふつちくとひつうひいて
ひちくくまんとてでんかう殺と追ふう

くさんくみちやうちやくをまこと[illegible]や

簡よめと無のかハ海人さうの者さうハ

何故よくうれ[illegible]力とだち力と接の

ハめうれ行ためうまひハ腔腐のもうかと

ぜ一人の山郎ハぐうち力接りをてぐ[illegible]

まうう接ハ[illegible]天まさうん[illegible]

十五

うてまへうう　と法湯りてひうやくれ

夏人　さうの罪人をハうう接鮮よ報

陽うてひうぐひ[illegible]接ふ[illegible]

ふうてひ清ちう伝毒ハ[illegible]

ひ根も只とハ接よ親義よひて報な

ぐさ丸綱と行てしぐ[illegible]者の罪

十六

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一二一一一

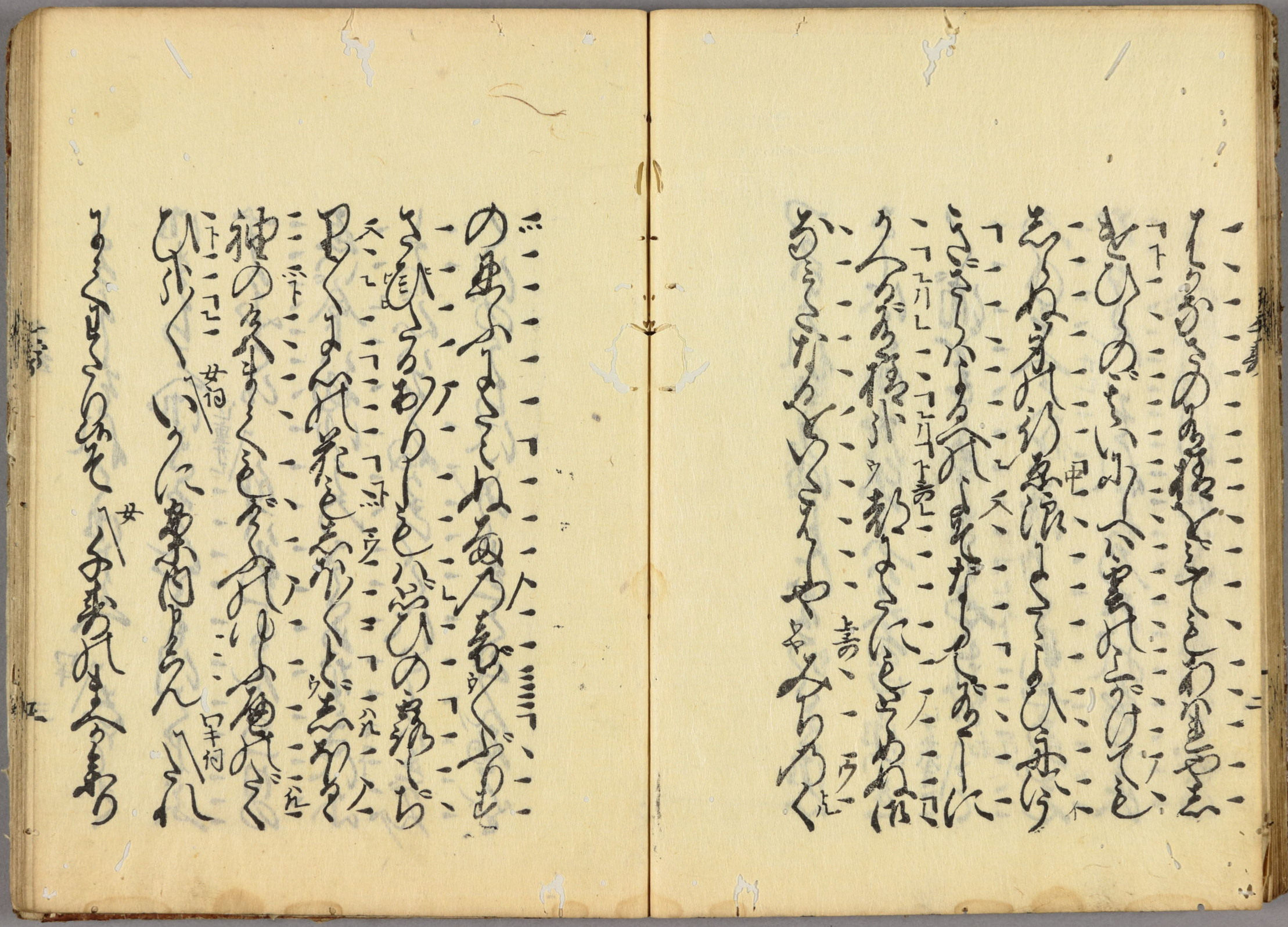
はかめんくと。弁ぎょのいきあるきて
但し元一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
ぴょりけれ人やらりにさるまき多長
長、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
して。ものとも。塔のらえれ酒とのまま
注テ一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
亀鳥やしあるぶ。亀とうとうてぶう
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
よひりるさまと水のまるまるへるる紐
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
みしていやるひとまりぶ。ぶるる

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
弁ぎょ八。塔の柱傍ぶひ。ん年代附
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
乃和ぶ。光ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
ひくそ。なる八。たるのあ。塔碑てい
註附
碑ぶ。光。塔和ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
註附
さ。ぶ八。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。
註附
ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。ぶ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やをさん　月ゝとしめや三一ゝ[illegible]

やど河のゝ　みかもあまやうゝ

えんとうの　[illegible]

[illegible]

とひさをさ　[illegible]

[illegible]

ひとをわりをふ　わをさくらひ

みをひろまりゝ　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のわさ　わさま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一一一二八八一八十二

やうふうをいとなむ人のかぞへさ
なるまでそひらひ給へる今は女はのえ
とうくらうくらうくらうくらうくらいへとそのとくい
くすれはまこころ市東野ふもむ
狙母とくかさけをやうにうをくい
ぎくふをひあをとろうれいあるう人市

原野とをとりしふすきもむ
ちはうけうあもど秋風のくこれ
一一一一一一一一一一村
ちくくあるめくぶ野ちいし
しすをおいろうちうぐ色とれくふ
町乃寺かちう梅ちうとふもく
ぐうを今は女性ちとのふ所乃ゆう生

いと思ひ給へ侍りしの市来野にいと

小町のわらとをとりかへらやとこひ

歌 ひさうわんとを出さくべく行まつの

く為ちかりきさ市原野へとろろ

きさくとのべ物をとさだもしり

恵いとやうとをくぶの門つとを

うしとうんをうをうをうをうをうを

清のとうしやうがあくいろ

けのへれ清いろやかなましかいろ

もあり根ひへしやうるへれ清

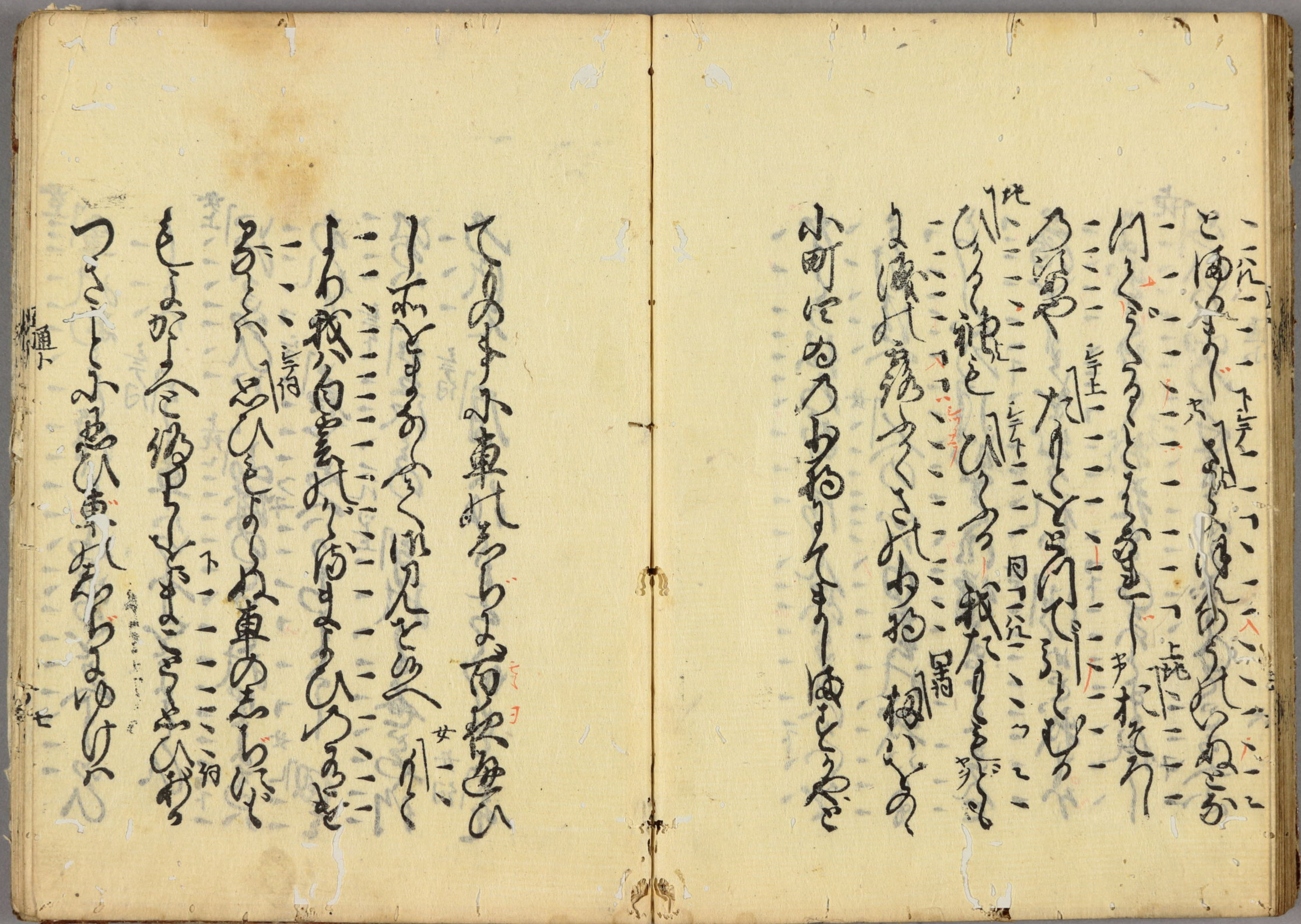
ひんのうふやうを海くの法まあへ

れをくをんとをうをうをうをうを

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しくひぶ[illegible]乃[illegible]さ[illegible]清み[illegible]へ[illegible]ゆ[illegible]
ゆ[illegible]ら[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
と[illegible]ゆ[illegible]く[illegible]ら[illegible]へ[illegible]
ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
さらく[illegible]
あ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一ノ天狗よりてり[illegible]

[illegible]

[illegible]

社もなんどのうつくしき源さん
ひとえとしたる波のわかやうにひもを
はしめ白き梅伯耆のかたのせんく所なし
波乃流なる見の城と申すハ大物ゝ
おそろしや梅系をとゝめらるゝおとこ
山れたる場所なりの山れ場ぶん

うゝとひえの大ゝけ郡のしれ行と
ゝ月れよりの乃流あれ　同はらそふ
の鬼くやをとゝ多んと郷しゝ増城
やうまの山ゝとえ大ゝ釈迦のうけ郡
乃ゝ根よりうゝ長におゝふも河し
ゝ月ゝ根よりゝ郡ゝ郡ゝ郡ゝ郡ゝ

[illegible]

右此本者観世左近太夫
以章句傳之者加當流
秘密悉令改正者也

千岡元禄十丁丑年　林鐘日
寺田通二條上ル町
寺田与平次新刊